

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.94号> 2018年 12月1日 発行

ごあいさつ

シクラメンの鉢植えを玄関に飾ると今年の冬を迎える心の準備完了です。

先月下旬、日本を代表する自動車メーカーのトップの不正が明るみとなり、経済界だけでなく日本社会全体に衝撃が走りました。不振に喘ぐ

大企業を立て直したはずの外国人トップ

の背信行為。欧米先進国の貴族や富裕層には、身分に応じて果たすべき社会的責任と義務が有るという道徳観とは真逆の、品性・品格を失った人物の末路は決して明るいものではないでしょう。

一方フランス・パリでは博覧会国際事務局総会において、2025年国際博覧会開催地として大阪府市が選ばれました。二度目の大阪万博は“いのち輝く未来社会のデザイン”をテーマに健康・医療等の技術貢献を目指す事に。iPS細胞やAI等ライフサイエンス分野発展の加速が期待されます。

またお膝元豊田自動織機では災害時の電源確保に車の超高出力化開発へ着手、活用が望めます。

さて、当月は12月刈谷市議会定例会、質問質疑を通し、市民の声を伝える議会に努めて参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y1110.jimdo.com>



歳時記

12月 6日 (木) シンフォニー記念日	師走とも思えぬ温かさが続き、小春日和に誘われて外出も増えるこの初冬
7日 (金) 大雪	ですが、一年を締めくくる仕事は待つ
22日 (土) 冬至	てはくれず、気持ちは急かされます。
23日 (日・祝) 天皇誕生日	スケジュールをきちんと立て、年末
25日 (火) クリスマス	までに片付けられるよう励みましょう。
31日 (月) 大晦日・大祓い	

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



広い敷地の一面、子ども達に人気の遊具はお金もかからず 経済的☆ 見晴らしも良く、季節毎に手入れされた花々も美しい…さて、ここはどこでしょう？

11/1発行の<No.93>の答えは、重原町の陸奥国福島藩8代・板倉勝長が飛び地である三河国重原（旧下重原村）に築いた陣屋跡付近、浄福寺にある石碑。兵どもが夢の跡でした…



「芸術の守人・リヒテンシュタイン編」への招待☆ (Chapter2)

日本人には往年の名画“サウンド・オブ・ミュージック”の撮影地として知られる、ザルツカンマーグートは美しいオーストリアの景勝地。ハプスブルグ帝国直轄の岩塩坑を持つこの地に運ばれた美術品は、湿気が多く絵画の疎開には不向きなため何度となく疎開先を変え、ある時は侯家の城を使ったり修道院へ隠したりと映画顔負けの逃避行が続き、その間に移送に関わる人出不足や梱包資材の調達も難しくなり、侯爵家の家宝とも言うべき“金の馬車”を使った程で、侯家の狩猟用の城には間一髪、ロシア兵が攻め込むような出来事もありました。

一方侯家の美術館長は命懸けで極秘に出奔、戦火が酷くなる頃にはナチスと交渉・説得して小さな作品から運び出し、知られた大名画などは内容を偽って税関検査をくぐり抜けたり夜陰に乗じて森を抜け国境を超えさせたりしました。

二級品なら移送しても良いというナチスの許可証を楯に、ドイツの役人がやって来た時、館長が天井の隠し扉から収蔵庫に入り絵画のタイトルを全て違うものとすり替えて、調査を切り抜けることにも成功。脱走兵として処刑されるかも知れぬ運命を怖れず果敢に守り抜いた信念が、今日の侯国を支えています。

12月の行事予定

12月 4日 (火)	刈谷知立環境組合議会
5日 (水)	～21日(金) 12月定例議会
8日 (土)	連合愛知政策推進議員懇談会
10日 (月)・19日 (水)	トヨタ車体労組 暮らしの相談日
20日 (木)	議会運営委員会
29日 (土)	消防団年末夜間特別警戒激励訪問

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!



11月のフットワーク

市民クラブ会派 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
11月6日	富山市	スーパーシニア活躍促進 人材バンクについて 富山駅周辺整備事業について
11月7日	金沢市	金沢型学校教育モデルについて



【視察委員】山内 智彦(会長) 中嶋 祥元(事務長) 鈴木 浩二 佐原 充恭 伊藤 幸弘

富山市『スーパーシニア活躍促進人材バンク』について

富山市は、働く意欲がある65歳以上高齢者と、即戦力となる人材を求める市内企業向けに登録制度(人材バンク)を導入し、両者のマッチングをはかる事業を行っており、刈谷市への導入を研究するため、その取り組み内容を学ぶ。

【刈谷市に参考としたい施策】

- ・企業の人手不足解消と高齢者の働く意欲を醸成する仕組みとして検討すべき。
- ・シルバー人材センターの業務拡大につながる事業として検討すべき。
- ・企業OB等の熟練技能者の人材活用につながる事業として検討すべき。

【所感】

高齢者が意欲を持って働く場所の提供は、超高齢化社会には必要とされる取り組みであり、企業の人手不足解消にも貢献する事業でニーズは高いと感じた。

富山市『富山駅周辺整備事業』について

刈谷駅は、南北が鉄道により分断され、円滑な往来を欠く状態ですが、富山市は、次の100年に受け継ぐ駅フロント整備を目指し、駅南北の一体的なまちづくりを進めている。将来の賑わいあるまちの創造に活かすため視察した。

【刈谷市に参考としたい施策】

- ・鉄道による南北市街地の分断や交通渋滞の損失等、将来を見据えた課題整理と、あるべき姿のまちづくりを大胆に描く構想を検討すべき。

【所感】

現在、刈谷駅北口の再開発を進めているが、将来的には刈谷の玄関口として相応しい、鉄道高架を視野に入れたまちづくりに着手する必要があると感じた。

金沢市『金沢型学校教育モデル』について

金沢市は、平成27年に市独自の「金沢市学校教育振興基本計画」を策定し、高い教育水準の確立を目指した学習プログラムと学習スタイルで小中一貫教育で成果を上げている。刈谷市のオリジナル教育の参考に金沢市の取り組みを学ぶ。

【刈谷市に参考としたい施策】

- ・刈谷市も教育振興基本計画を策定し、小中一貫のプログラムを検討すべき。
- ・教員用の学習指導開設資料を作成し、学習指導の共通化を図るべき。
- ・児童生徒による目指すべき行動宣言の作成と唱和は規範意識の醸成に良い。

【所感】

刈谷市も教育大綱はあるが、目指すべき教育方針実現に向け、小中一貫の具体的な学習プログラムによる、刈谷市版教育振興計画を策定すべきと感じた。

全国市議会議長会研究フォーラム 参加報告

【日 時】平成30年11月14日(水)～15日(木)

【場 所】栃木県宇都宮市 文化会館

【テーマ】第1部：基調講演「地域共生社会」をどうつくるか

〔講演者〕宮本 太郎(中央大学法学部教授)

第2部：課題討議「議会と住民の関係」について

〔報告者〕久慈市副議長・新潟市議会議員

犬山市議会議員・竹原市議会議員

＜第1部＞基調講演『地域共生社会をどうつくるか』 ～2040年を超える自治体のかたち～



① 自治体が直面する2040年問題 重量挙げと漏斗化の日本

日本人の半数が100歳を超え生きる時代となる一方、現役世代は非正規雇用の増加で支え手にとって重量挙げ型社会に。また、若年層は首都圏に漏斗化するも、出生率は低く高齢化が深刻。地方も首都圏も違う形で持続性が問われる。

② ピンチをチャンスに、チャンスを実現する道

社会的弱者を認定し保護する福祉から、皆を元気にする包括支援の場づくり。(皆が人材のまちへ⇒ずっと出番のあるまちへ⇒必要縁、新しい家族縁、地縁)

③ 困窮と孤立を超えて「誰もが人材」のまちへ

誰もが人材を目指す「生活困窮者自立支援制度」が目指されるべきかたち(静岡県富士市の例：職場の間口を広げ共生の場をつくるユニバーサル就労)

④ 定年後男性の地域デビュー支援でご当地を「生涯活躍のまち」へ

養老サービスから「幼老」サービスや「積極的老老介護」など、「ずっと出番のあるまち」へ、広がる可能性を。

⑤ 新しい家族縁や新しい地縁をつくる

地縁・血縁 ⇒ 社縁 ⇒ 衰退 ⇒ 新しい縁・新しい仕事縁・新しい地縁(支え合い・子育て・介護などの必要縁)

まとめ

ピンチは「誰もが人材のまち」「ずっと出番のあるまち」「必要縁でつながるまち」へのチャンスでもある。⇒ チャンスを現実化するために政治の役割は大きい。(居住支援協議会を設置し、ケアと居住をつなぐ地縁づくり等)

＜第2部＞課題討議『議会と住民の関係』について～各市議会の事例報告～

議会名	報告者	報告概要
久慈市議会	桑田副議長	住民と議会が協働する場「かだつて会議」の開催 ・市民意見を聴く議会⇒問題発見・問題共有と課題昇華
新潟市議会	伊藤議員	「主権者教育推進プロジェクトチーム」の設置 ・市内中学校・高校を対象に模擬市議会を開催
犬山市議会	アンソニー議長	「市民参加」と議会機能向上 ・本会議場で女性議会の開催、市民フリースピーチの導入
竹原市議会	道法議長	「女性議員の政治参画」 女性目線の活動の必要性